



大阪・関西万博の開幕にあたって

2018年11月に開催が決まり、政府、地元自治体、経済界が一丸となって準備を進めてきた、まさに国家プロジェクトである2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)が、大阪・夢洲を会場に2025年4月13日、いよいよ開幕します。これまで、大阪・関西万博の開催・成功に向けてご尽力いただいたご関係の皆さまに改めて感謝申し上げます。

大阪・関西万博は、日本で行われる大規模な万博としては、1970年日本万国博覧会(大阪万博)、2005年日本国際博覧会(愛知万博)に続いて3回目となります。

「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと、世界中から約160の国・地域・国際機関が半年間にわたり1カ所に集まります。コロナ禍と紛争により分断が進む時代において、大阪・関西万博を通じて「いのち」と「未来」を問いかけ、つながりを取り戻す、「多様でありながら、ひとつ」の実現を目指してまいります。

世界最大の木造建築物である「大屋根リング」の美しく壮大な姿、大屋根リングという一つの輪の中に一堂に会する海外パビリオン、

8人のプロデューサーが「いのち」を表現する「シグネチャーパビリオン」、13の民間パビリオン、ウーマンズパビリオン、Society 5.0の世界を示す「未来の都市」パビリオン、日本館、大阪ヘルスケアパビリオン、関西パビリオン、能登の復興を発信する輪島塗大型地球儀「夜の地球」など、見どころは満載です。iPS心臓、アンドロイド、自動運転といった未来の技術を体感できるだけでなく、ナショナルデー、コンサート、水上ショーなど多彩なイベントが毎日開催され、世界の食を楽しむこともできます。

こうした素晴らしい万博を創り上げるため、経団連では、これまで、会場建設費の寄附、前売り入場チケットの購入、全国的な機運醸成などを会員企業・団体などに全国各地で呼びかけてまいりました。皆さまの多大なご協力に厚く御礼申し上げます。

20年ぶりに日本で開催される万博を、皆さまと一緒に盛り上げてまいりたいと考えております。ぜひ、たくさんの方々にご会場にお越しいただき、世界を、そして未来を体感していただければと思います。

大阪・関西万博の誘致決定から開幕までの主な動き

- 2018年11月 博覧会国際事務局(BIE)総会にて誘致決定
- 2019年1月 2025年日本国際博覧会協会発足
- 2020年8月 公式ロゴマークを決定
- 2021年10月 コロナ禍により約1年延期された2020年ドバイ万博が開幕
- 2022年7月 公式キャラクターの愛称が「ミャクミャク」に決定
- 2023年4月 起工式
- 2023年11月 国際参加者会議(於:大阪)、前売り入場チケット販売開始
- 2024年4月 開幕1年前イベント
- 2024年6月 国際参加者会議(於:奈良)
- 2024年8月 大屋根リングの木造建築部分がつながる
- 2024年10月 開幕半年前イベント
- 2025年1月 国際参加者会議(於:姫路)、夢洲駅開業
- 2025年4月 開幕

2025年日本国際博覧会協会会長
日本経団連体連合会会長

十倉 雅和



「半年前イベント」を開催し、開幕に向けて機運醸成を加速
(2024年10月13日)



公式参加者が集まり、開幕に向けて議論を交わした国際参加者会議
2025年(IPM2025)(2025年1月15・16日)



ケルケツェス博覧会国際事務局長との石破首相への表敬訪問
(2025年1月17日) 提供:内閣広報室



経団連幹部による会場建設現場の視察
(2024年7月11日)



経団連幹部が石川県輪島漆芸美術館で《夜の地球》を見学
(2024年11月20日)



十倉会長が日本館を視察
(2025年1月29日)